



3/12

17:00-18:30

連続講演「讃岐の海と里をめぐる窒素」第6回

水稲の畑地状態での地下点滴灌がい栽培による 温室効果ガス排出量削減の取り組み

作物の生産現場から排出される主要な温室効果ガスは窒素肥料に由来する亜酸化窒素と水稲栽培で排出されるメタンですが、水稲を畑地状態で点滴灌がい栽培すると酸化的土壌環境のためメタン排出量を削減できます。畑地状態での地下点滴灌がいと水田での湛水栽培で水稲を栽培し、それぞれの温室効果ガス排出量と水稲の収量および品質を調査した結果を中心に、本栽培法によるコメの生産コスト削減や輸入依存度の高い畑作物との輪作体系の利点について報告します。

講演：豊田正範教授（農学部）

日時：2025年3月12日（水）17:00～18:30

場所：ICEDSルーム（香川大学幸町キャンパス北2号館2F）
+ Zoom（希望者は、後日動画視聴も可能）

申込：<https://forms.office.com/r/fW6BCCd1mM>（当日正午〆切）

詳細ページ（<https://www.iced.net/j/gcs58/>）

香川大学ICEDS主催（<https://www.iced.net/j/>）

質問：terao.toru@kagawa-u.ac.jp



↑申込はこちら

前日開催

種子から見た循環する生命 タネ採り農家の実践と声

講演：河合 史子准教授（教育部） 日時：3/11 17:00-18:30

詳細ページ（<https://www.iced.net/j/gcs56/>）



↑申込はこちら

